

2017年12月6日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No. B-64)
「実践女子大生とスマホケース」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、「スマホケース」について「種類」と「動画を視聴する際の持ち方」の視点から、写真観察法により、実践女子大生とスマホケースの関係について、調査しました。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、実践『ペルソナ』通信として公表された調査結果をもとに、写真観察を行い、さらに深く実態を考察した調査レポートです。

観察調査結果のポイント

(1) 所有しているスマホケースは「手帳型」、「耐久性重視型」、「平面型」、「バンカーリング付属型」の4種類に分類

スマホケース単体で分析すると二つ折りが特徴的な「手帳型」、耐衝撃性に優れた i face 等を含む「耐久性重視型」、スタンダードでデザインも豊富な「平面型」、そしてスマホを持ちやすくする為の「バンカーリング付属型」の4つに分けられることが分かった。この中で最も多かったのが「平面型」である。使用しているデザインも様々であり機能性よりもデザインを重視している学生が多いことが分かる。また、「平面型」は価格の低いものから高いものまでたくさんありスマホケースに重きを置いていない学生が利用しやすいものであるということが予測される。次に多かったものが「手帳型」である。こちらは「平面型」がデザイン性を重視することに加えて機能性も重視している。調査時に中身を見てみると定期入れとして併用している学生が多くいることが分かり、スマホのように常に持ち歩いているものだからこそ、そのように利用している学生がいるのでは多いのではないだろうか。そして次に「耐久性重視型」は手帳型と同様に機能性を重視しており、こちらは利便性よりも耐衝撃性に長けている。調査から学生全員が iPhone を利用していることが分かり、iPhone が衝撃に弱いことから「耐久性重視型」を利用する学生がいるのではないかと推測される。最も利用者が少なかったものが「バンカーリング付属型」である。バンカーリングはスマホを

持ちやすくするためのものである。いまや学生にとってスマホは必需品でありその中でスマホが持ちやすくなる「バンカーリング付属型」を利用する者が少なかったのは、他のスマホケースに比べてデザイン性の幅がないことが原因だと予測できる。

(2) スマホケースと動画を視聴する際の持ち方に関係性は無い

今回はスマホケースの調査と同時に動画を視聴する際の持ち方も調べたが、関係性はあまりないようにみえた。種類ごとに見ても基本的には手でスマホを抱えて観る形が多い。しかし手帳型スマホケースの利用者ではケースに引っ掛けてスマホを立てかけながら動画を視聴していることから、動画を視聴する際の快適さを求めてスマホケースを選ぶ学生もいるということが分かった。

(3) 実践女子大生がスマホケースに求めているものはデザイン性

調査した写真一覧をみて予測できるのは実践女子大生がスマホケースに求めているのはデザイン性ではないか、ということである。種類分けをした際に機能性を重視したものもあったが、機能性を重視したものであってもデザインは様々だ。また、動画の視聴に関してもスマホケースの種類はそれ程影響してないと考えていだろう。以上のことから実践女子大生がスマホケースを選ぶ際の第一条件は「デザイン性」であることが予測される。

本件調査担当

実践ペルソナ研究会
3年 川崎 なつ美

観察調査結果

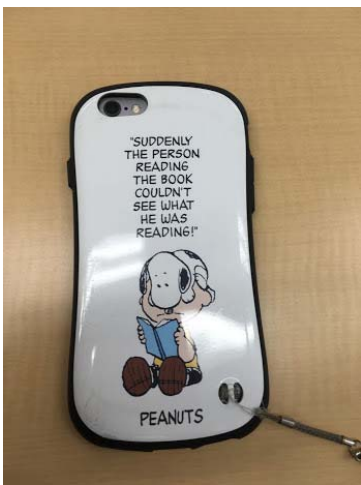
① スマホケースの種類

<手帳型>





<耐久性重視型>





<平面型>





<バンカーリング付属型>

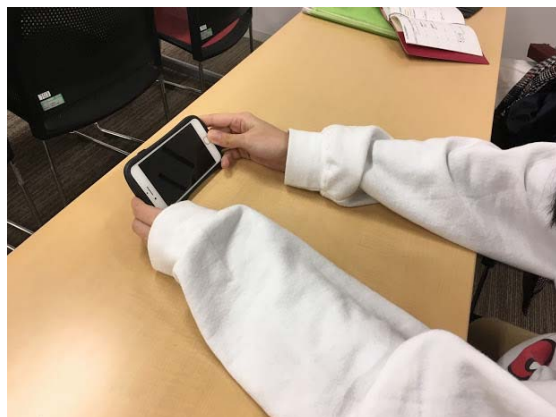


② 動画を視聴する際の持ち方

<手帳型>



<耐久性重視型>



<平面型>



<バンカーリング付属型>

